

株式会社 元気な介護 行動計画

女性社員が介護現場で長く活躍できる雇用環境の整備を行うため、次のような行動計画を策定する。

1. 計画期間 2018年9月1日～2022年6月30日までの3年10か月間

2. 当社の状況と課題

状況1：女性の平均勤続年数は、医療・福祉業界の平均勤続年数（7年7か月）と比較すると短い、これは事業拡大に伴う近年の積極的な雇用によることが大きい要因である。

状況2：管理職に占める女性社員の割合は50.0%と医療・福祉業界の平均値（※1 43.4%）を上回っている。

課題：直近事業年度の女性社員離職率は介護業界の全体離職率（※2 16.7%）と比較すると高い水準にある。

※1 資料 厚労省「産業ごとの管理職に占める女性労働者の割合の平均」
（適用期間 30.6.1～31.5.31）

※2 資料 介護労働安定センター「平成28年度 介護労働実態調査の結果」

3. 目標と取組内容・実施時期

目標 職場環境の改善を図り、女性離職率を16%以下にする。

元々、女性が多数を占める職場の特性から、性別・人事評価による差別は全くないが、一方ではシフト制勤務や夜勤もあることから、出産・子育てを機に退職する女性社員が少なからず見受けられる。子育て世代が、継続就業できる職場環境の改善を図っていき、女性離職率を介護業界全体離職率以下になるよう取組んでいく。

<取組内容>

- 2018年10月～「育児・介護休業等に関する規程」や各種両立支援制度についての研修会を実施し、仕事と家庭が両立できる環境整備を図る。
- 2019年1月～労働者、管理職を対象とした「育児休業等の手引き」を作成し、各事業所に配布することにより周知徹底を図る。
- 2019年2月～事業所長研修、毎月のミーティング時に職場と家庭の両立支援の周知を徹底し、管理職の意識改革と組織風土の改善を図る。
- 2019年7月～年次有給休暇の計画的な付与により取得促進を図る。

以上